

県政150周年記念事業

記念講演会

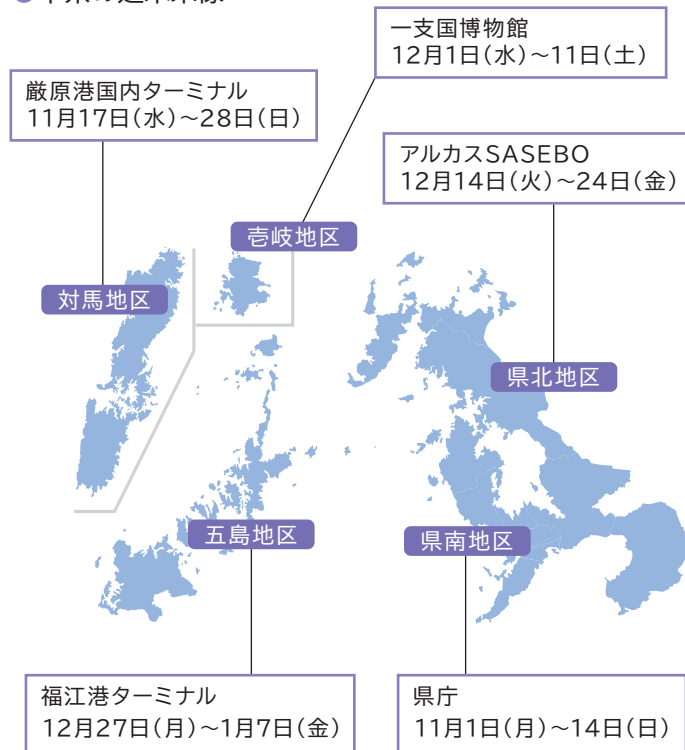
テーマ「本県150年の歴史を振り返る」**無料・事前申込要**

- 講演
専門家が本県の歴史に関する講演を行います。
- トークイベント
対馬・平戸・大村・島原・五島の郷土史の専門家が各地域の歴史について語り合います。

- 日 時／11月3日(水・祝)13時30分～16時
- 場 所／長崎歴史文化博物館(長崎市立山)
※新型コロナの状況により、Web配信のみとなる場合があります

巡回パネル展

- 150年の主な出来事
(産業や観光、スポーツや文化など)
- 本県の近未来像



記念イベント

- 絵画・作文コンクールの表彰
- 政策提言の表彰
- 県民によるビデオメッセージ上映 など

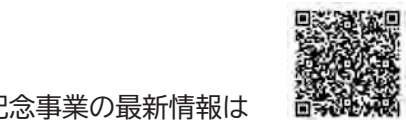
- 日 時／11月14日(日)14時～
- 場 所／県庁(長崎市尾上町)
※Web配信のみです

企画展

- 本県の近代を代表する30人の功績とゆかりの品
- 県政150周年記念記録映像の放映 など

- 日 時／11月1日(月)～12日(金)
- 場 所／長崎歴史文化博物館

記念事業の最新情報はウェブサイトを確認できます。



長崎県知事
中村法道

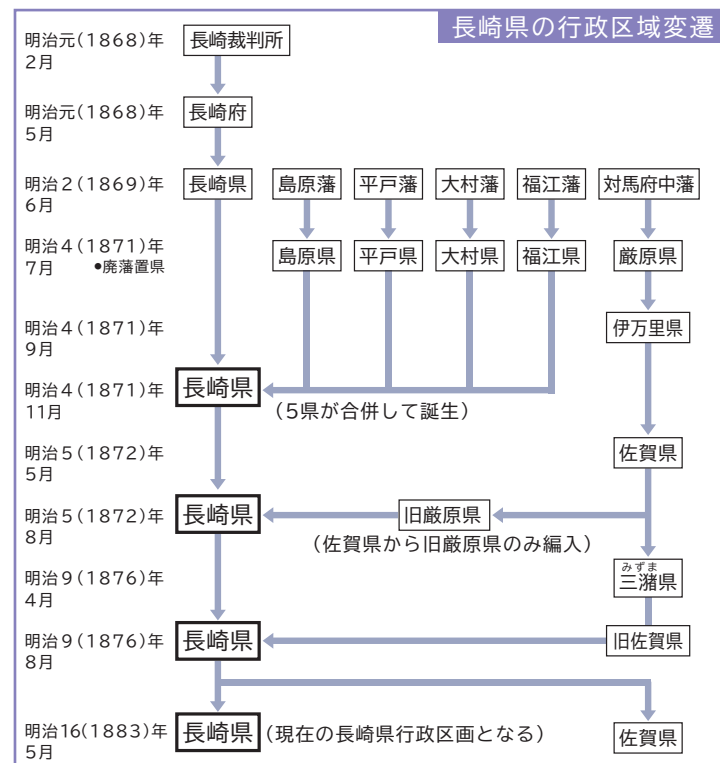
1871年の誕生から、今年で長崎県政は150周年を迎えます。まさに今、新しい未来に向けて歩みを進めている本県にとって、この節目の年を県民の皆さまとともに、今日に至るまでの長崎の歴史とこれからの未来を共有する契機にしたいと考えています。

県では、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら、各種記念事業を行ってまいりますので、是非、県民の皆さまもご参加ください。

特集 未来へつなぐ 2 ~長崎県政150周年~

令和3年11月14日、本県は誕生から150年を迎えます。まちの佇まいや産業構造に大きな変化が生じている今、本県の誕生から現在までの歴史と、これからの未来について、県民の皆さんと共有するため、さまざまな事業を進めています。

本県の成り立ち



※1871年を「長崎県」誕生の起算点としています

明治維新までの長崎は、鎖国時代における唯一の南蛮貿易の港として幕府直轄の下に栄えた天領長崎と、佐賀、大村、島原、平戸、福江、対馬府中の諸藩に分かれていました。

明治元(1868)年、幕府直轄地に設置されていた長崎裁判所が「長崎府」へ名称を変更されると、その翌年には、版籍奉還とあわせ、各藩主が藩知事に任命されるのと同時に「長崎府」も「長崎県」に改称されました。

続く明治4(1871)年に、廃藩置県によって諸藩にそれぞれ県が置かれ、同年11月には厳原県を除く5県(長崎・島原・平戸・大村・福江)を統合し、新たな「長崎県」が誕生しました。

大きな藩を中核とし、そのまま県として成立したものとは異なり、天領長崎という都市と、それぞれに歴史を有する複数の藩が1つとなって誕生した本県は、他県にはない「多様性」を有した県として、この150年の間、発展を遂げてきました。

県庁舎の変遷



初代 2代目 3代目 4代目 5代目(現在の県庁舎)

【本県の発展につながったもの】

県長崎学アドバイザー本馬貞夫氏に聞きました!

明治維新以後も横浜・神戸に次ぐ第3位の国際貿易港、貿易都市でもあった長崎ですが、幕末に誕生したいわゆる海軍伝習所や、後に三菱長崎造船所に発展した長崎製鉄所、長崎大学医学部に発展した医学伝習の存在も大きかったと言えます。一方県北では、明治22(1889)年に開庁した

佐世保鎮守府の影響が大きく、その後佐世保市として発展していくとともに、近隣の北松炭田の開発も進みました。これらはそれぞれ産業の発展に寄与するとともに、他県から人の往来を生み出すことで本県の発展を加速させました。